

2021 年度(令和 3 年度)事業報告書

2021 年(令和 3 年)4 月 1 日～2022 年(令和 4 年)3 月 31 日

公益社団法人日本フィランソロピー協会

I. 社会貢献啓発事業(公益目的事業 1)

1. 機関誌の頒布事業

当協会の活動報告とともに、社会の課題を抽出し特集として企画・編集している。2021年度の実績は以下の通り。

2021年度	特 集
No.260(4 月号)	フィランソロピー始動 30 周年記念号
No.261(6 月号)	プラスチックは叫ぶ「地球が危ない！」
No.262(8 月号)	今こそ“読書の夏”
No.263(10 月号)	障がい者という枕詞を超えて、アートを深掘りする
No.264(12 月号)	スイーツで心も体も幸せに
No.265(2 月号)	教育格差のリアルに迫る

2. フィランソロピー始動 30 周年記念冊子の発行及びシンポジウム・フォーラムの開催

【冊子概要】

- ・タイトル『共感革命～フィランソロピーは進化する～』
- ・四六判、209 ページ
- ・部数：2000 部
- ・発行：公益社団法人日本フィランソロピー協会
- ・制作・発売：中央公論事業出版

【フィランソロピー始動 30 周年記念シンポジウム・フォーラム】

総合テーマ：『健全な民主主義社会におけるフィランソロピーの今後の役割』

記念シンポジウム（会場：学士会館及びオンライン配信）

開催日	内容	参加者数
2021 年 10 月 21 日 (木) 14:00～ 17:00	第一部 基調講演：『これからの民主主義社会創造のために』 平野啓一郎氏（小説家） 第二部 パネルディスカッション テーマ：『社会課題解決・新たな価値創造のために経済はどう貢献すべきか』 パネリスト：渋澤 健氏 (シブサワ・アンド・カンパニー株式会社 代表取締役) ：熊野 英介氏 (アマタホールディングス株式会社 代表取締役) モデレータ：河口 眞理子氏（立教大学特任教授）	会場 34 名 オンラ イン 151 名

記念フォーラム（全 3 回、15:00～17:00、オンライン開催）

開催日	内容	参加者数
第 1 回 2021 年 11 月 17 日 (水)	テーマ：『組織の中で個人を生かす』 協会活動紹介：『企業従業員のためのボランティアマッチング』 パネルディスカッション パネリスト：嵯峨 生馬 氏 (認定 NPO 法人サービスグラント 代表理事) ：濱松 誠 氏 (ONE JAPAN 共同発起人・共同代表) モデレータ：長島 剛 氏 (多摩大学 経営情報学部教授)	90 名

第2回 2021年 12月16 日(木)	テーマ：誰も取り残さない社会の実現に向けて 協会活動紹介：農福連携事業 パネルディスカッション パネリスト：村木 厚子 氏 (津田塾大学客員教授、元厚生労働事務次官) ：井村 良英 氏 (認定 NPO 法人育て上げネット) モデレータ：野澤 和弘 氏 (植草学園大学副学長(教授)、毎日新聞客員編集委員)	117 名
第3回 2022年 1月20日 (木)	テーマ：個人の寄付文化醸成に向けて 協会活動紹介：誕生日寄付 パネリスト：奥田 知志 氏 (認定 NPO 法人抱樸 理事長、東八幡キリスト教会 牧師) ：米良 はるか 氏 (READYFOR 株式会社 代表取締役 CEO) モデレータ：山田 泰久 氏 (一般財団法人非営利組織評価センター 業務執行理事)	132 名

3. インターネットを利用した情報提供事業

当協会の活動をはじめ、企業の社会貢献・CSR 情報の提供、NPO・NGO 団体の活動最新情報を発信

- (1) メールマガジン(毎月1日・15日配信 配信数約7,000件)
- (2) 当協会 WEB サイト情報更新
- (3) 理事長ブログ(2018.9.20～)第32回まで掲載
- (4) (1)(2)を補完する情報発信源として、SNS(Facebook、Twitter)を利用、協会をより身近に感じてもらふ事の出来るトピックを選び、職員全員で情報を掲載
<https://www.facebook.com/philanthropy.or.jp>、<https://twitter.com/JPNphilanthropy>
- (5) 動画アプリ「1Roll」を導入し、2020年度に引き続き短時間動画(30～60秒)を作成し、ホームページ、SNS(Youtube、Facebook、Twitter 等)での発信を行う

II. 社会貢献促進事業(公益目的事業2)

1. 研修事業

(1) 定例セミナー

年度の初めは新任の CSR 担当者も多いことから、今年度は4月より3回シリーズで「CSR基礎講座2021」を開講。全てオンラインでの実施。

開催日	内 容	参加人数
第380回 2021年 4月23日	CSR 基礎講座 2021 第1回 「SDGs経営時代のCSRとは」 講師：関 正雄氏(損害保険ジャパン株式会社 サステナビリティ推進部 シニアアドバイザー、明治大学経営学部特任教授)	33 名
第381回 2021年 5月20日	CSR 基礎講座 2021 第2回 「ソーシャルファイナンス、投資と寄付の根っこは同じ」 講師：河口 眞理子氏(不二製油グループ本社株式会社 CEO 補佐)	24 名
第382回 2021年 5月27日	CSR 基礎講座 2021 第3回 「ANA グループにおけるビジネスと人権の取り組みについて」 講師：菊池 俊介氏(ANA ホールディングス株式会社 サステナビリティ推進 部 マネジャー)	27 名

第 383 回 2021 年 6 月 23 日	「パリ協定で始まった脱炭素時代に企業が実施すべき環境保護活動」 講師：山岸 尚之氏（公益財団法人世界自然保護基金ジャパン 気候エネルギー・海洋水産室長）	12 名
第 384 回 2021 年 7 月 19 日	「ショウガイシャってなに？アートとデザインを起爆剤にした企業や社会とのコラボレーション」 講師：Laila Cassim（ライラ・カセム）氏（一般社団法人シブヤフォン ト アートディレクター 東京大学先端科学技術研究センター 特任助教）	9 名
第 385 回 2021 年 9 月 16 日	「企業連携で社会課題を解決するには～連携の先進事例に学ぶ～」 講師：宮原 伸朗氏（アマタホールディングス株式会社 未来デザイングループ グループリーダー）	11 名
第 390 回 2022 年 2 月 21 日	「広がれ 深まれ 食支援の輪～世間の多様化に即した地域・セクター間の連携事例に学ぶ」 講師：平野 覚治氏（一般社団法人全国食支援活動協力会 専務理事） 長迫 和宏氏（北九州市戸畑区役所 総務企画課） 長谷部 敏朗氏（公益財団法人キューピーみらいたまご財団 事務局長）	12 名
第 391 回 2022 年 3 月 23 日	企業従業員の社会参加意識についての調査結果報告会 ～7 社 1,626 名へのアンケート調査結果から～ 講師：松本 祐一氏（多摩大学 経営情報学部・総合研究所所長 特定非営利活動法人 NPO サポートセンター代表理事） 長島 剛氏（多摩大学 経営情報学部・総合研究所副所長）	37 名

※第 386 回、第 387 回、第 388 回、第 389 回は 30 周年記念シンポジウム・フォーラムとして実施(P1、P2 参照)

2. 顕彰事業

第 19 回企業フィランソロピー大賞

社会問題に真摯に向き合い、自社の経営資源を活かして、経営理念に沿った社会貢献活動や価値創造を実践する企業を顕彰することで、企業 CSR 経営の普及・啓発につなげる。

<スケジュール>

2021 年

5 月 20 日（木） 公募開始
9 月 1 日（水） 公募締切
9 月 17 日（金） 第 1 次選考委員会
10 月～11 月 訪問審査ヒアリング
12 月 3 日（金） 最終選考委員会
12 月下旬 贈呈先企業の発表

<贈呈先企業>

◆ 企業フィランソロピー大賞 サラヤ株式会社（大阪市）
◆ 企業フィランソロピー賞
《ソーシャルプリンティング賞》 株式会社 大川印刷（横浜市）
《おなか一杯幸せ賞》 西海みずき信用組合（長崎県佐世保市）
《種まきセンチュリー賞》 住友商事株式会社（東京都千代田区）
《絵本は心の薬賞》 日本新薬株式会社（京都市）
《未来をひらく女性賞》 メットライフ生命保険株式会社（東京都千代田区）

<贈呈式>

新型コロナウイルス感染拡大により、開催日を延期

【変更前】2022 年 2 月 14 日（月） 贈呈式 於：学士会館（東京都千代田区）

【変更後】2022 年 5 月 16 日（月）

<選考委員>

委員長 國部 克彦氏 (神戸大学大学院 経営学研究科教授)
 委員 井手 明子氏 (東北電力株式会社、住友商事株式会社 社外取締役)
 佐藤 雄二郎氏 (株式会社共同通信社 顧問)
 渋谷 健氏 (コモンズ投信株式会社 取締役会長)

※肩書は 2021 年度末時点のもの

3. フィランソロピー・バンク事業 (個人寄付普及事業)

(1) 企業の従業員および顧客参画寄付事業

【NPO 向け】

社 名	内 容
株式会社ファンケル	顧客のポイントを金額換算したものと、社員からの寄付を合算し、東日本大震災遺児奨学基金の「みちのく未来基金」と全国の重度心身障がい者施設 15 団体を選定。
明治安田生命保険相互会社	チャリティー・コンサートの会場で集めた募金および社会貢献活動基金として集めた募金による寄付事業の 2019 年度、2020 年度、2021 年度事業の管理。 2020 年度にチャリティー・コンサートの会場で集めた募金を、東北 3 県で「次世代育成」の分野で活動する 3 団体に 2021 年度寄付するための諸手続き。寄付金総額 282,918 円。
株式会社ジェーシービー	「5」のつく日。JCB で復興支援の寄付事業について、2018 年度、2019 年度、2020 年度事業の管理。
株式会社ゆうちょ銀行	環境分野で住民と共に課題解決に向けた活動をする 13 団体に寄付金を配布。寄付総額 6,500,000 円。
TOYO TIRE 株式会社	環境基金の寄付を担当。環境問題に携わる団体を公募の上、選考し助成する。 寄付金総額 12,653,300 円を 13 団体に助成。
株式会社 LIFULL	だれ一人取り残すことなく一人ひとりの“したい暮らし”を応援するための寄付プログラムをスタート。寄付対象は、DV を受けている人々、虐待を受けている人々、難民、貧困により住生活に困っている人々を支援する団体に対して寄付。 寄付金総額 11,995,000 円を 10 団体に寄付。
株式会社ブリヂストン	ブリヂストンのグローバル CSR 体系「Our Way to Serve」の3つの重点領域「Mobility (モビリティ)」、「People (一人ひとりの生活)」、「Environment (環境)」に該当し、SDGs の達成などに向けた社会課題の解決に取り組む団体・事業に同社の従業員募金制度である BSmile 募金を通じ助成する。 寄付金総額 8,758,430 円を 9 団体に寄付。
東京海上日動あんしん生命保険株式会社	社員の給与天引き、代理店でのグッズ販売の一部を難病患者支援団体、認知症啓発団体に寄付。寄付先は前年度より継続の 3 団体。
東京海上日動火災保険株式会社	従業員による募金制度、東京海上日動 Share Happiness 倶楽部の実施。寄付金総額 2,355,960 円を 8 団体に寄付。
日本ロレアル株式会社	経済的に困難な女性を支援する NPO へ従業員の募金による寄付。4 団体への寄付と相当額の商品を寄贈。寄付総額 1,248,000 円

(2) 個人の寄付推進事業

【誕生日寄付事業】

■実績

第3期である今年度は、172名より3,476,154円の寄付があった。また、有限会社椎名洋ラン園と協働している「誕生日寄付 with Flowers」の寄付金は37,424円であったため、合計3,513,578円となった。

	期間	寄付金額	寄付者数	誕生日寄付登録者数
第1期	2019.1月～2020.5月	10,839,715円	235名	268名
第2期	2020.6月～2021.3月	4,969,632円	181名	182名
第3期	2021.4月～2022.3月	3,513,578円	172名	86名
合 計		19,322,925円	588名	536名

第3期の寄付金3,513,578円は、17%の運営費597,308円を差し引いた2,916,270円を、2022年4月末日に、次のとおり3カテゴリー6団体に配布。

カテゴリー	寄付先団体	配布予定の寄付額
生きるを支える	一般社団法人若草プロジェクト	627,774円
	社会福祉法人カリヨン子どもセンター	627,774円
育ちを支える	特定非営利活動法人 TEDIC	389,260円
	認定特定非営利活動法人ポケットサポート	389,260円
支える人を支える	特定非営利活動法人ふるすあるは	441,101円
	特定非営利活動法人しぶたね	441,101円
合 計		2,916,270円

4. フィランソロピー社会基盤整備事業

(1) 個別企業社会貢献推進事業

A. 従業員ボランティア支援事業

① 「ボランティアウェブ」利用企業

社 名	内 容
株式会社ジェーシービー	2011年より、「JCB 社会貢献プログラム」のボランティア受付管理を「ボランティアウェブ」により継続利用中。コロナ禍にて自社で設定する活動のみ掲載し募集。5月以降に実施する新規オンラインプログラムを企画、提案。
サントリーホールディングス株式会社	2017年3月より、社内の「働き方改革」の一環で、「ボランティアウェブ」を継続利用中。ボランティアウェブとつなげた社内ボランティアサイトを立ち上げ、年2回のボランティア推進月間を設けている。「水と生きる」「人と響きあう」にちなんだ活動を強化している。在宅プログラムの推進とともに、オンラインセミナーを実施。オンラインセミナー団体の推薦も行った。
株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ	三菱 UFJ フィナンシャル・グループ全体でボランティアウェブを活用中。
株式会社 LIFULL	2019年7月より、通年利用継続。
パナソニック株式会社	2020年利用開始。現在は、在宅ボランティアプログラムの募集のみ実施中。

第一三共株式会社(新規)	2021 年 4 月より利用開始。今後全国各地でのボランティア活動推進をする。
株式会社ブリヂストン(新規)	2021 年 5 月より利用開始。BSmile 募金との連携を視野に活用している。
富士通株式会社(新規)	2021 年 7 月より利用開始。
積水ハウス株式会社(新規)	2021 年 7 月より利用開始。従業員募金制度「積水ハウスマッチングプログラム」と連携し、過去の寄付先情報を掲載し、従業員のコメント機能も追加し活用している。
カルビー株式会社(新規)	2021 年 8 月より利用開始。社内ですでに実施しているプログラムを掲載し、ボランティア活動を推進している。
ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループ(新規)	2021 年 9 月より利用開始。
オリンパス株式会社(新規)	2021 年 10 月より利用開始。社内への啓発と利用促進のため 2021 年 12 月にオンラインセミナーを開催。高橋理事長が講師として登壇した。
アサヒグループジャパン株式会社(新規)	2022 年 1 月より利用開始。社内ボランティアサイトと連携し活用している。

個別コーディネート企業

社 名	内 容
アクセンチュア株式会社	オンラインで行えるボランティア活動や講演会企画にさまざまなテーマで団体を推薦。4 月以降、毎月 1～2 回のペースで行われるイベントの企画・運営をサポート。
クーパービジョンジャパン株式会社	8 月のボランティア月間に、視覚障害者支援のためのオンライン音声ガイドづくりを実施。

B. 助成支援事業

プログラム名・社名	内 容
「SDGs 貢献プロジェクト」 日本たばこ産業株式会社	格差是正・災害分野・環境保全の分野で活動をする団体の事業に助成をする SDGs 貢献プロジェクトの外部事務局として運営事務を行う。
「田辺三菱製薬手のひら パートナープログラム」 田辺三菱製薬株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・8 期(2020 年度)助成事業 活動報告会開催(2021 年 10 月 26 日オンライン) ・10 期(2022 年度)助成事業の審査 公募期間 2021 年 10 月 15 日～11 月 15 日。 助成先確定(16 団体)
アステラス製薬株式会社	患者会助成事業の審査。

C. 社会貢献活動支援事業

プログラム名・社名	内 容
「患者会 次世代リーダー育成のための Leadership Training Program」 アステラス製薬株式会社	患者会の安定的・持続的な組織づくりを可能にする人材を育成することを目的とした企画・開発。6 月、9 月、翌 1 月の計 3 回の研修会を企画し、オンラインで実施。
「森里海つなぐプロジェクト」 東京ガス株式会社	2017 年度から開始した、森、里山、海をつなぐ環境社会貢献活動の支援。8 月の森の活動はコロナ禍で中止。里山の活動は清瀬松山緑地保全地域(東京都清瀬市)で 2 月 26 日に実施。

	海の活動は6月13日アマモの花枝採取（千葉県木更津市）、11月27日アマモ種まき（横浜市）をスタッフで実施した。NPOへの寄付プログラム（20万円の寄付）を4団体に対して実施した（3月）。
「プロロジス就活応援奨学金」 プロロジス株式会社（新規）	児童養護施設等から進学し就職を目指す学生のための給付型奨学金「プロロジス就活応援奨学金」の支援を行った。公募に向けた資料準備、関係団体等への告知、申請者審査を実施した。15名の申請があり、10名に給付予定で審査中。
「エンドレス募金」 大和ハウス工業株式会社	従業員募金「エンドレス募金」寄付先団体の推薦
「しるしの日募金」 クラシエホールディングス株式会社	従業員募金「しるしの日募金」寄付先団体の推薦
プルデンシャル ジブラルタ ファイナンシャル生命保険株式会社	オンラインセミナー登壇 NPO 団体の推薦

D. 物品寄贈「あげます・もらいます」事業

寄贈時期	企業	寄贈物品	寄贈先 団体数
2021年4月	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社	ボールペン ノート サーモスポトル モバイルチャージャー コットンポーチ バッグハンガー	13 団体
2021年5月	三菱地所株式会社	レインコート	4 団体
2021年6月	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社	文具	3 団体
2021年7月	富士通株式会社	クリアファイル	2 団体
2021年7月	株式会社電通デジタル	事務用品	11 団体
2021年8月	楽天グループ株式会社	クリアファイル	3 団体
2021年8月	住友商事株式会社	防災毛布	11 団体
2021年8月	富士通株式会社	事務用品	5 団体
2021年8月	一般社団法人ゼブラ社会貢献支援協会	シャープペン ボールペン	3 団体
2021年9月	富士通株式会社	アイクール	4 団体
2021年9月	株式会社 J-オイルミルズ	自社商品	6 団体
2021年9月	株式会社電通デジタル	事務用品	14 団体
2021年10月	楽天グループ株式会社	ボール スマホグッズ トートバッグ キーチェーン	8 団体
2021年11月	ジョンソン・エンド・ジョンソン グループ ヤンセンファーマ株式会社	文具	11 団体
2021年11月	オーシャンネットワーク エクスプレスジャパン株式会社	マスク カラートレー	7 団体

2021 年 12 月	富士通ハーモニー株式会社	パイプ式ファイル	3 団体
2021 年 12 月	富士通株式会社	バインダークリップ 目玉クリップ	6 団体
2022 年 1 月	アクセンチュア株式会社	不織布マスク アルコール除菌ジェル	6 団体
2022 年 1 月	富士通株式会社	防災備品	1 団体
2022 年 1 月	一般社団法人ゼブラ社会貢献支援協会	ボールペン	3 団体
2022 年 2 月	住友商事グローバルメタルズ株式会社	事務用品	4 団体
2022 年 2 月	三菱地所株式会社	タブレット	14 団体
2022 年 3 月	富士通株式会社	給茶備品 事務用品	1 団体
2022 年 3 月	株式会社 J-オイルミルズ	自社商品	4 団体

E. 企業従業員の社会参加に関するアンケート調査

企業従業員の社会参加を促進する手がかりを得るため、1 月から 2 月にかけて、会員企業を対象にアンケート調査を実施。7 社の参加があり、1626 件の回答を得られた。7 社は、アマタホールディングス株式会社、カルビー株式会社、株式会社 J-オイルミルズ、住友金属鉱山株式会社、フィリップモリスジャパン合同会社、株式会社プロロジスおよび匿名の 1 社。その結果についての報告会をオンラインで 3 月 23 日に実施した。会社の用意した社会参加プログラムへの参加度合いとプライベートでの社会参加プログラムへの参加度合いをもとに分析したところ、4 タイプに分けることができ、それぞれへの適切な対応の仕方も異なることが分かった。そして、新たな魅力のあるプログラムを用意することで、参加を促せる可能性があることなどが分かった。

タイプ	特徴
積極層	会社中心にプライベートでも様々な社会参加を行っている層
バランス層	それぞれでバランスよく活動している層
潜在層	会社のプログラムにはほとんど参加していないが、プライベートでは活動している層
不参加層	どちらもほとんど参加していない層

(2)被災地復興支援事業

A.サントリー・チャレンジド・アスリート

第 6 期「チャレンジド・アスリート奨励金」

2020 年末で終了予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大のため奨励金の活用期間を 2021 年末までと延長した。それによる受給団体・個人へのフォローを実施。2021 年もコロナ禍で活動のできない受給団体・個人からの要請があり、活用期間を再延長した。

B.みらいチャレンジプログラム

サントリーグループの東日本大震災復興支援「サントリー東北サンさんプロジェクト」の一環として、2021 年 2 月より新規スタート。岩手県、宮城県、福島県の地域の復興を目指して新たな活動を立ち上げようという個人・団体の活動を奨励金という形で支援する。3 年間の実施予定。

第 1 回申請数 329 件 岩手県 13 団体、宮城県 14 団体、福島県 13 団体、計 40 団体に給付。総額約 4,000 万円。

第 2 期を 2022 年 3 月 8 日より公募開始。

(3) コンサルテーション事業

郡山市農福連携推進モデル構築事業

郡山市からの受託事業(担当部署:農林部 園芸畜産振興課)

- ・目的: 農業と福祉の両分野が連携することにより、農業分野における労働力の確保、生産力の維持、福祉分野における障がい者等の活躍の場の拡大及び自立支援を図る
- ・履行期間: 2019 年度～2021 年度
- ・受託金額: 10,593,000 円(2021 年度・税込み)

<活動状況>

① 農福連携に向けた農業参画機会の創出

ア 農業者及び障がい福祉サービス事業所等への周知、啓発活動(説明会等)

2021 年 11 月 11 日(木) まどか菜園 従業員向け個別説明会(参加者:従業員 13 名他)

2022 年 2 月 16 日(水) 希望ファーム ピーマン作業振り返り

イ 農業体験の実施(新規の事業内容及び新規参画者(農業者及び福祉サービス事業所等)に対して実施すること)

2020 年度に引き続き、以下の活動を実施。11 事業所が参加し、その他、数事業所が体験・見学。

- ・まどか菜園での露地栽培(ニンジン、カブ等)
- ・希望ファームでの露地栽培(ピーマン等)、ハウス栽培(春菊等)
- ・菅野ファームでのブドウ栽培
- ・新規トライアルとして、きゅうりのつるおろし栽培法の体験

ウ 先進事例等の研修会の実施(講演会等)

3 月 11 日(金)～12 日(土)に、社会福祉法人白鳩会(鹿児島県)を視察

② 指導者の育成等による農福連携体制の構築

ア 農業者と障がい福祉サービス事業所のマッチングのしくみを構築

- ・電子日報の本格導入、SNS を利用した農家と福祉事業所の連絡網を活用
- ・須賀川の事業所等、他地域へのアプローチの実施

イ 農福連携コーディネーターの育成

- ・OJT による指導

ウ 農作業指導体制の確保(ジョブコーチ等人材の育成及びマニュアルの作成等)

「農業就労サポーター育成研修」のトライアル実施 郡山市のサポーター候補 8 名

配信講座(6 時間) 1 月 18 日(火)～31 日(月)

実地研修(郡山市) 2 月 1 日(火)

座学研修(郡山市) 3 月 2 日(水)

◇研修の開発は自主事業として実施。

Ⅲ. 共生社会創造事業(公益目的事業 3)

1. 共生社会づくり推進事業

(1) フィランソロピー名刺事業

フィランソロピー普及と障がい者の経済的自立のための名刺制作事業。

1 件:100 枚

	2017年度	2018年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
制作件数	348	308	376	115	164

※新型コロナウイルスの影響による発注減

(2)公益財団法人 JKA 補助事業

「2021 年度 児童、高齢者、障がいのある人が相補的に関わることのできる地域共生型社会づくりを促進する活動、調査・研究等 補助事業」(継続)

【目的】

思い込みを取り払った多様なボランティア活動の紹介により、SDGsの目的である「誰も取り残されない社会」創りへの道筋を示す。ボランティア活動の普及や、これまで異分野とされていたことの共通項に目を向けることでボランティアと受益者の裾野を広げる。

【事業内容】

(1)プログラム検討委員会(NPO 代表者、企業の CSR 担当者など)

(2)開催方法:オンライン

(3)連続セミナー

第 1 回 一般社団法人若草プロジェクト

内容:若年女性支援からみえてきたこと～若草プロジェクトの活動を通して～

日時:2021 年 10 月 25 日(月)19:00～19:45

講師:村木 厚子 氏 一般社団法人若草プロジェクト 代表およびかけ人 元厚生労働事務次官

第 2 回 特定非営利活動法人スマイルオブキッズ

内容:病気の子どもと家族への支援からみえてきたこと～家族のための滞在施設とは～

日時:2021 年 11 月 10 日(水)18:00～18:45

講師:谷畑 育子 氏 特定非営利活動法人スマイルオブキッズ 事務局長

第 3 回 特定非営利活動法人 子どもセンターてんぼ

内容:居場所のない 10 代後半の子どもへの支援について～子どもシェルターてんぼの活動を中心に～

日時:2021 年 11 月 24 日(水)18:00～18:45

講師:特定非営利活動法人 子どもセンターてんぼ 子どもシェルターてんぼ ホーム長

第 4 回 NPO 法人しぶたね

内容:病気や障がいのある子どもの「きょうだい」を応援する～子どもが「子ども」でいられるように～

日時:2021 年 11 月 30 日(火)18:00～18:45

講師:清田 悠代 氏 NPO 法人しぶたね 理事長

第 5 回 NPO 法人モンキーマジック

内容:多様性を認め合うことのできるより豊かな社会のために～クライミングができること～

日時:2021 年 12 月 17 日(金)18:00～18:45(17:45 開場)

講師:小林 幸一郎 氏 NPO 法人モンキーマジック 代表理事

第 6 回 認定 NPO 法人プール・ボランティア

内容:水の世界もバリアフリーに！～障害者も健常者もともに楽しめるプールを実現したい～

日時:2022 年 1 月 14 日(金)18:00～18:45(17:45 開場)

講師:岡崎 寛 氏 認定 NPO 法人プール・ボランティア 理事長

織田 智子 氏 認定 NPO 法人プール・ボランティア 事務局長

第 7 回 特定非営利活動法人 TEDIC

内容:子どもの包括的支援とその課題～宮城・石巻での実践から考える～

日時:2022 年 2 月 7 日(月)18:00～18:45(17:45 開場)

講師:鈴木 平 氏 特定非営利活動法人 TEDIC 代表理事

第 8 回 特定非営利活動法人多文化共生センター東京

内容:外国にルーツを持つ子どもたちの学び～多文化共生センターの活動を通して～

日時:2022年2月24日(木)18:00~18:45(17:45 開場)

講師: 朽木 典子 氏 特定非営利活動法人多文化共生センター東京 代表理事

(4)ウェブサイト作成

(5)講演録作成

2. 次世代育成事業

久里浜少年院 社会貢献活動

参加者:在院生 12 名

協 力:有限会社椎名洋ラン園

内 容:(1)ビデオレクチャー 2021 年 9 月 10 日(金)

(2)在院生による蘭の栽培

(3)開花した蘭の寄贈式 2021 年 12 月 2 日(木)

寄贈先:神奈川県立こども医療センター

特定非営利活動法人スマイルオブキッズ

社会福祉法人誠心会 しらかば子どもの家(児童養護施設)

IV.会員の推移

	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
① 法人正会員	27	26	25	20	18
② 法人賛助会員	93	101	102	103	106
法人会員合計	120	127	127	123	124
③ 個人賛助会員	91	94	84	79	78

※法人賛助会員 106 社の内、株式会社アデランス、三井物産株式会社 2 社は休会中

V.会員の入退会(種別変更含む)

会員種別	入会及び種別変更	退会及び種別変更
正会員		① 王子ネピア株式会社 ② シティグループ・ジャパン・ホールディングス株式会社(種別変更)
賛助会員	① 株式会社プロロジス ② オリンパス株式会社 ③ オーシャンネットワークエクスプレスジャパン株式会社 ④ 株式会社ジャックス ⑤ シティグループ・ジャパン・ホールディングス株式会社(種別変更) ⑥ アストラゼネカ株式会社	① 株式会社ティップネス ② ENEOS 株式会社 ③ ハーベスト株式会社

2021 年度（令和 3 年度）事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2022 年(令和 4 年)5 月
公益社団法人日本フィランソロピー協会